



公害資料館ネットワークチャンネル 開設しました

2020年度に開催したオンラインイベントや研究会、2019年度に船木成記さんのご協力を得て撮影した「公害資料館ネットワークのこれまでとこれから」を視聴いただけます。コンテンツの数はまだ少ないですが、これから増やしていく予定です。

一部はネットワーク会員限定となっておりますので、限定映像はメーリングリストからのご案内にそってご覧ください。また、コンテンツの作成に協力いただける方も募集中です。



<https://www.youtube.com/channel/UCOmbwU2iYuFM7kPZy8zwp1Q>

電子書籍始めました

過去に開催した公害資料館連携フォーラムの報告書から、基調講演や分科会の報告をPDF化して公開しています。

現在は、試行的に無料配布していますので、ぜひ授業や勉強会など学びに活用してください。

順次、作成・公開していますが「これを電子書籍化してほしい」などご要望などありましたらお寄せください（関係者の意向等により作成できない場合もありますので、その点はご了承ください）。



公害の学びの入門書 『公害からの問いかけ(仮)』の作成について

本書は、日本環境教育学会のなかに置かれた公害教育研究プロジェクト(2016-19)の成果物として構想されました。いまなぜ「公害に学ぶ」ことが大切なのか。私たちは、それを大きく2つの視点で捉えています。

ひとつは、公害という「困難な歴史」に学ぶことを通して、私たちは、公害のない、環境／社会的に公正で民主主義的な社会を築く市民になることができると考えるからです。

もうひとつは、公害という「困難な歴史」を学ぶことを通して、私たちは他ならぬ自分自身と向き合い「どのような人として生きていきたいのか」を再定義する機会、たとえどんな人生の段階にあっても得ることができるからです。

1点目は公害教育／公害学習の社会的・環境的な意義であり、2点目はその人間的な意義である、と理解することもできるでしょう。「公害」という言葉が現代社会を読み解くキーワードとしての位置を追い出されてから長い時間が経過しています。それゆえ、この言葉にあらためて光をあてる学びをつくりだしていくことは、学習者にとって世界と自分自身とを問い返す場へと誘われる経験を意味することになるのだと考えます。

本書は2021年夏に「ころから」出版社から出版予定です。編集者やデザイナーさんの意見を取り入れ、図版の多い、高校生でも分かりやすい本をめざしています。公害をいろいろな側面から捉えられるように、様々な立場から公害に関わっている人に執筆を依頼しているところです。将来的には電子書籍化することも視野に入れています。出版にあたって、クラウドファンディングを行う予定となっております。また広くご協力をお願いすることになると思います。どうぞよろしくお願いいたします。

